

令和8年度東京都立総合芸術高等学校における教科指導の重点

| 教科 | 重点課題 | 取組 | 発展的取組 |
|------|--------------------------------------|---|--|
| 国語 | ・主体的、対話的、深い学びの充実 | ・各科目で、単元に沿って、対話を通じて、論理的、批判的に考える力を養い、各自の学びが深まったり広がるよう授業を工夫する。 ・上記を通じて主体的に国語を学ぼうとする精神を涵養する。 | ・レポートや小論文を通じて、批判的、論理的に書く力を養う。 ・大学共通テストに対応する力を養う。 |
| 地歴公民 | 主体的、対話的、深い学びと評価が一体化した指導の充実 | 定期的な教科会を開き、年間指導計画を共有し、指導の重点を確認したうえで指導に当たる。 | 一人一台端末を活用した協働学習の実施。 |
| 数学 | 対話を通じた数学的活動 | 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断する活動を取り入れた授業の実施 | 問題解決の過程を振り返り、考察を深められる活動を取り入れた授業の実施 |
| 理科 | 「探究活動」及び「言語活動」を踏まえた学習の充実 | ・科学的・論理的な思考をはぐくむ授業の実施。 ・生徒が自ら問いを立て、調べ、発表する授業の展開。 | ・ピアインストラクションを通して深い学びに結び付ける |
| 保健体育 | 基礎体力の向上と習得した知識を動作や生活に活かせるようにする。 | ・ペーパーテストを各種目で必ず実施し、技術を知識として習得させる。 ・様々な種目を実施することにより、体力の向上を図るとともに、多様な運動技能を身に付けさせる。 | 【体育】個々の生徒のレベルに応じた技術指導を行うことで、体育が苦手な生徒から得意な生徒まで、すべての生徒が技術の向上を図れるようにする。 【保健】グループワーク等を通して、学習内容を実生活でどのように活用できるかを考えさせる。 |
| 英語 | 4技能及びやり取りを含めた指導の充実 | ・ITを活用したコミュニケーションスキルを培う実践的な授業の実施・各学期プレゼンテーションの実施・生徒の思考力を培うwriting指導の充実 | ・週末課題やプレゼンテーションを通して生徒のアウトプットのスキルを養う。 ・大学入試に対応できる技能を培う |
| 家庭 | 生徒の生活を豊かにする学びの充実 | 単元ごとに実験・実習を取り入れ、生徒の生活に学習を活かしやすくする。 | 単元レポートを実施し、学習内容の定着や考察の深化を図る。 |
| 情報 | 情報社会と人間との関わりを基に情報モラルを習得する。 | 単元ごとに実習を行い、情報社会で求められるリテラシー、科学的理解を自分事として認識させる。 | CBTによる単元テストによる学習面の確認と、レポート・発表による実技の達成度確認を行う。 |
| 音楽 | 専門的な知識の深化と表現技能の習得 | ・専門性の高い講師による高度な専攻指導を行う。 ・生徒一人ひとりの到達度に合わせ、グレード別のソルフェージュ指導を行う。 ・アンサンブル、合奏・合唱、伴奏法など、音楽科としての将来を見据えた授業を実施する。 ・ステージマネージャー等の体験を通して、音楽の現場で求められる知識と経験を習得する。 | ・校内外の発表機会や地域連携を設定し、目的に応じたプログラム構成まで含めて総合的に学ぶ。高度な分析を通して楽曲に対する理解を深化させ、音楽文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。 |
| 美術 | 発展的な知識・思考と表現能力を身に付ける。 | 専門的な分野における用具・材料の使い方や表現に必要な考え方と方法について、基本から発展的な内容まで確実に身に付ける。 | 対話や思考を深めることを意識した課題制作や講評会の実施、及び展覧会の企画・運営・発表によって、高度な創作力と芸術的感性を高める。 |
| 舞台表現 | 舞台人として基礎基本を徹底的に身に付けるとともに、専門的な技能を高める。 | 演劇、舞踊ともに、基礎練習に多くの時間を割き、基礎力向上に努める。また、定期公演や各発表会に向けた練習を通して、より実践的で専門的な技術を身に付けさせる。 | ただ台詞や振付を覚えて舞台上で再現するだけでなく、作品の背景まで理解した上で演技や舞踊を行えるよう、戯曲や時代背景等についても学習させる。 |